

国鉄改革完遂！

当たり前の労働運動を  
前進させよう！

JR 東海労に  
結集しよう！

J R  
東海労

静岡

J R 東海労働組合静岡地方本部

〒420-0851

静岡市葵区黒金町 68 番地

TEL 054-284-3608

発行責任者：半場弘恭

2025 年 1 月 14 日 No.17

# 新幹線地本 OB 会 JR 東海労支持 とは別の道をどうして歩むのか

昨年末、新幹線地本 OB 会は会員に、会則の変更と臨時総会の開催の案内を出しました。その内容は「JR 東海労の総連からの除名が決定された。新労組『JR セントラル労働組合』が結成され JR 総連加盟が承認された。この事態をうけて JR 東海労新幹線地本 OB 会も『今後も総連とともに歩む』『JR 総連に結集する全国の仲間と共に今後も進みたい』『JR セントラル労働組合との連携を強化し運動を支持していく』」とするものです。

これに対して 1 月 8 日、JR 東海労新幹線地本は「新幹線地本 OB 会会員の皆さんに訴える」を発行し、「新幹線地本は OB 会の案内の内容に反対し、新たな OB 会結成に反対しましょう」と訴えています。

他地本の OB 会のことではありますが、今後 JR 東海労静岡地本にも影響を及ぼしかねない重大な事態であります。JR 東海労結成から 33 年、会社の不当な攻撃と共に闘ってきた OB 組合員の苦闘と団結を放り出して新しい OB 会を作ることは、苦労を共にした組合員と OB 会員に背を向けるものです。JR 東海会社は、JR 東海労を壊滅させるため、あの手この手で熾烈な攻撃をかけてきています。

JR 総連は、このような JR 東海労組織の現状を理解せず、単組の会社との労使関係や地方の職場の状況を考慮せず、無視して一方的に方針を押し付けてきました。

一昨年、出向先で結成した JR サービス労働組合に反対してきました。また、JR 総連近畿地方協議会で JR 東海労によるありもしない「組織破壊があった」と決めつけ、JR 総連は「解決」のためとして、JR 東海労に無理難題を押し付けた挙句、履行しなかったとして 12 月 12 日 JR 東海労の除名を臨時大会で決定しました。そして、JR 総連臨時大会を前に JR 総連と連携した一部 OB に扇動された組合員が脱退しました。一部 OB による、JR 東海セントラル労働組合と連携を強化し運動を支持することは、JR 東海労の運動に反する組織を支持することです。組織の脱退と分裂で喜ぶのは会社ではないでしょうか。さらに、JR 東海労組合員の不安を煽り、組合員を JR 東海セントラル労組に脱退・加入させ、OB 会員を「新たな OB 会」に引き込もうとしているのが、新幹線地本 OB 会役員です。会員との討議の時間もなく、JR 東海労の主張と JR 総連との関係について OB 会員に事実を伝え議論するのではなく、役員が一方向的に押し進めています。JR 東海労 OB 会の規約や会の運動方針まで変えることは、丸ごと OB 会員を JR 東海労に敵対する「新たな OB 会」に持つていこうとするものです。

これらの行動は、後輩を見捨て、労働者らしく闘う労働運動を否定することです。私たち静岡地本は、新幹線 OB 会役員の皆さんに再考を訴えるとともに、新幹線地本と共に新たな OB 会結成に反対し、当たり前前の労働運動をすすめていきます。

\* JR 東労組は 2018 春闘で組織の脱退と分裂をおこし、今では組織人員が約 3000 名とも言われています。このような JR 東労組から出ている JR 総連役員指導部が異議を申し立てる者を切り捨て、会社との関係を重視していくという、労働運動に変質したことが、JR 東海労を除名するに至ったといえます。